

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M212U203	老年看護方法論 I (Gerontological Nursing Practice I)	専門教育科目 老年看護学

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
必修	1	2	後	火・3, 4	三重野英子・小野光美・阿部世史美 内線:5093 E-mail:eikomi@

【授業の概要・到達目標】

高齢者に生じやすい健康問題について、それらの定義、発生要因・機序、看護の原則を理解することによって、健康問題を抱える高齢者に個別的看護を提供するためのアセスメント能力を養う。

具体的な到達目標	看護学科ディプロマポリシーとの対応						
	1	2	3	4	5	6	7
1. 高齢者の健康問題の特徴と看護アセスメントの枠組みを説明する。	○		○				
2. 高齢者に生じやすい健康問題について、それらの定義、発生要因・機序および看護の原則を説明する。	○		○				○

【授業の内容】

1, 2	〔総論〕 高齢者の健康問題の特徴と看護アセスメント 〔各論1〕 生理的狀態の変調に焦点をあてたアセスメントと看護の原則 1) 脱水症・熱中症 2) 皮膚の変調 (ドライスキン、かゆみ、スキン-テア、褥瘡等)
3, 4	〔各論2〕 活動性の維持・拡大に焦点をあてたアセスメントと看護の原則 1) 活動性の低下 2) 転倒
5, 6	〔各論3〕 食生活・栄養狀態の変調に焦点をあてたアセスメントと看護の原則 1) 栄養狀態の変調 2) 摂食嚥下障害
7, 8	〔各論4〕 排泄の変調に焦点をあてたアセスメントと看護の原則 1) 排尿障害 2) 排便障害
9, 10	〔各論5〕 睡眠および意識・感情の変調に焦点をあてたアセスメントと看護の原則 1) 睡眠障害 2) せん妄 3) 抑うつ
11~14	〔各論6〕 認知症高齢者の潜在能力に焦点をあてたアセスメントと看護の原則
15	〔応用編〕 高齢者事例の検討

【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A: 知識の定着・確認	○	小テスト、学習記録による振り返り	・講義、小テスト、事例検討を組み合わせ た授業を行う。
B: 意見の表現・交換	○	発問、グループ検討	
C: 応用志向	○	事例検討・発表	
D: 知識の活用・創造			

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	教科書等を用い、次回の学修内容について予習する。(11h)
事後学修	授業資料、教科書、小テストを用い、授業で学修した内容を復習する。(11.5h)

【教科書】北川公子著者代表 (2022) : 系統看護学講座 専門分野Ⅱ老年看護学 (第9版)、医学書院.

【参考書】水谷信子他監修、三重野英子他編集 (2024) : 最新老年看護学 (第4版)、日本看護協会出版会

【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	目標1	目標2
期末試験	90%	○	○
学修記録の内容	10%	○	○

【注意事項】毎回、学修記録の提出 (Moodle のアンケート) をもって出席状況を確認する。

【備考】大学の感染対策方針に基づき、オンライン授業に変更する場合がある。

適時、授業資料や教材を Moodle にアップロードする (アップ時、メールで通知)。

担当教員の実務経験の有無	○	
教員の実務経験	三重野（看護師）、小野・阿部（看護師、保健師）	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	×	
教員以外の指導に関わる実務経験者		
実務経験をいかした教育内容	・看護師、医師としての活動経験をいかし、高齢者事例を教材に講義を行う。	
授業形態	面接授業	